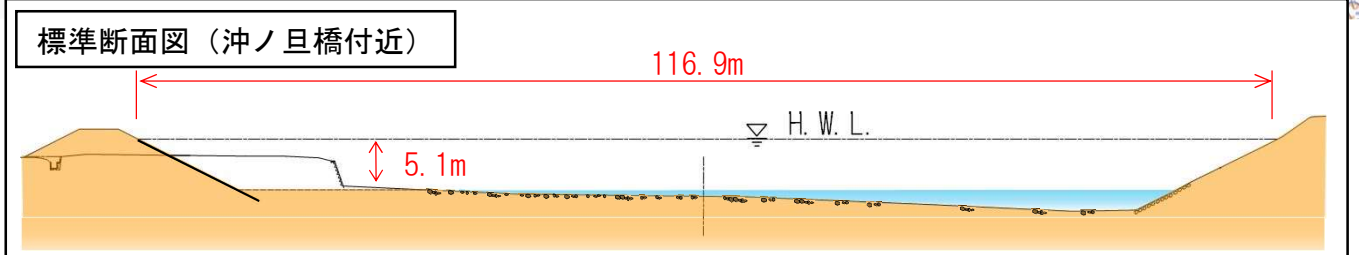
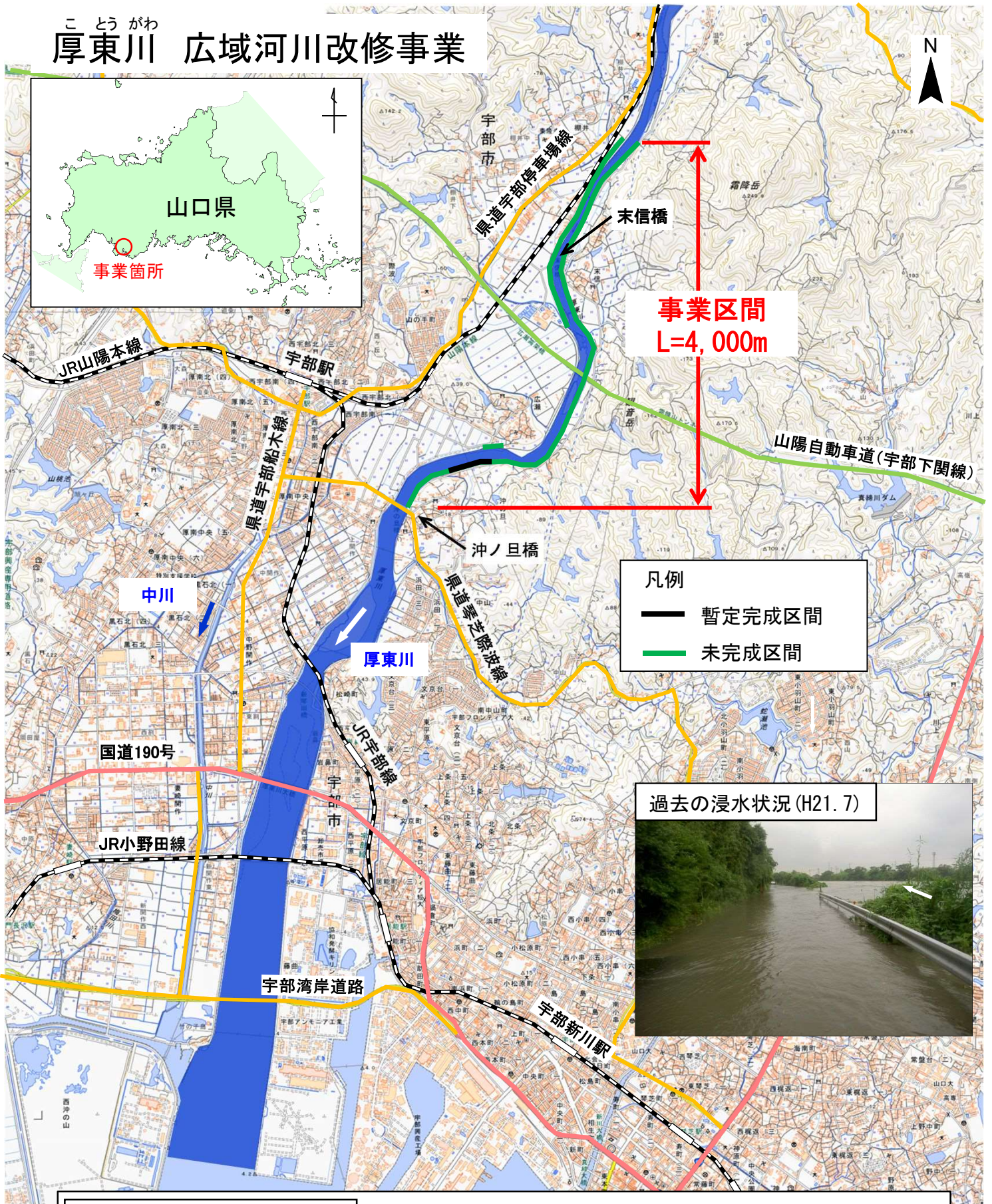
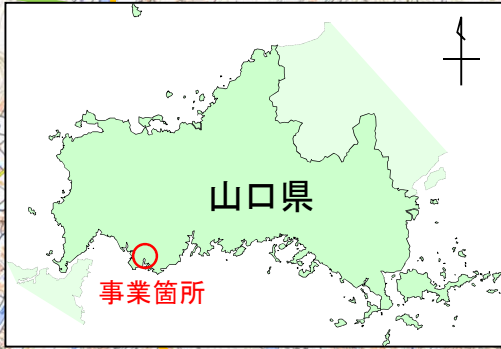


再 評 価 項 目 調 書

再評価実施要件		○ 事業採択後 () 年 ● 再評価後 (5 年) ○ その他 ()					
1 事 業 概 要	事業名	厚東川 広域河川改修事業					
	事業場所	宇部市沖ノ巨 地内					
	事業主体	山口県					
	事業期間	《 前回評価 平成 28 年 時 》 平成 24 年度 ~ 令和 23 年度 《 令和 23 年度 》 (西暦 2012 年度 ~ 西暦 2041 年度 《 西暦 2041 年度 》)					
	総事業費 (内用地補償費)	《 9,239 百万円 》 9,239 百万円 (5,399 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	481 百万円 (184 百万円)	進捗率 (用地補償費)	5 % (3 %)	
	事業目的	厚東川は、美祢市の桂木山を源とし、中流にある小野湖で支川大田川を合わせて周防灘に注ぐ、流域面積413km ² 、流路延長59.9kmの二級河川である。流域には公共施設や家屋等が多数立地しており、JR山陽本線や宇部線、国道190号、県道琴芝際波線等の主要な交通網も整備されている。 本事業区間は、洪水に対する安全度が低く、平成11年9月の台風18号や平成21年7月の梅雨前線による豪雨により浸水被害が起きていることから、河川改修を実施し、浸水被害の軽減を図る。					
	事業内容	L=4,000m (河道掘削工、築堤工、護岸工) 洪水対策の整備規模 年超過確率 1/100					
事業効果	年超過確率1/100の洪水時における浸水被害防止効果 浸水面積 569 ha → 0 ha 被害額 80,501 百万円 → 0 百万円 平成21年7月豪雨による洪水時における浸水被害防止効果 浸水戸数 26 戸 → 0 戸 浸水面積 142 ha → 0 ha						
2 再 評 価 の 視 点	(1) 社会経済情勢の変化	<p>前回評価から人口・世帯数が増加し、特に下流右岸に位置する宇部駅南の地区を中心に宅地化が進んでいることを踏まえると、治水対策の必要性は依然として高い。</p> <p>【状況変化(国勢調査)】 《沖ノ巨地区ほか》 ○人 口 : 1.10倍 (25,541/23,236人) <H27/H22> ○世帯数 : 1.12倍 (10,338/9,243世帯) <H27/H22></p> <p>《参考:県全体》 ○人 口 : 0.97倍 (1,405/1,451千人) <H27/H22> ○世帯数 : 1.00倍 (597/596千世帯) <H27/H22></p>				中項目 評価	大項目 評価
	関係市町及び地元の意向	<p>当該事業は、自治会、水利権者等の地元関係者や学識経験者等により構成する川づくり検討委員会です承されている。また、これまでの浸水被害の経験から、地元自治体である宇部市や地元住民からの被害軽減に対する要望は強い。</p>				中項目 評価	

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果 分析等	(単位：百万円)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>前 回</th> <th colspan="2">今 回 (再々評価)</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>(基準年：H28)</th> <th colspan="2">(基準年：R3)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">便益 (B)</td> <td>①一般資産被害軽減便益</td> <td style="text-align: center;">16,218</td> <td style="text-align: center;">22,106</td> <td style="text-align: center;">20,594</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②農作物被害軽減便益</td> <td style="text-align: center;">84</td> <td style="text-align: center;">106</td> <td style="text-align: center;">99</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③公共土木施設等被害軽減便益</td> <td style="text-align: center;">27,473</td> <td style="text-align: center;">20,728</td> <td style="text-align: center;">19,333</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td style="text-align: center;">546</td> <td style="text-align: center;">1,182</td> <td style="text-align: center;">1,125</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td style="text-align: center;">44,321</td> <td style="text-align: center;">44,120</td> <td style="text-align: center;">41,151</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td style="text-align: center;">5,893</td> <td style="text-align: center;">6,007</td> <td style="text-align: center;">5,404</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td style="text-align: center;">676</td> <td style="text-align: center;">679</td> <td style="text-align: center;">666</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td style="text-align: center;">6,569</td> <td style="text-align: center;">6,686</td> <td style="text-align: center;">6,070</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比 (B/C)</td> <td style="text-align: center;">6.7</td> <td style="text-align: center;">6.6</td> <td style="text-align: center;">6.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区分	主な項目	前 回	今 回 (再々評価)		備 考	(基準年：H28)	(基準年：R3)					全体事業	残事業		便益 (B)	①一般資産被害軽減便益	16,218	22,106	20,594		②農作物被害軽減便益	84	106	99		③公共土木施設等被害軽減便益	27,473	20,728	19,333		④その他の便益	546	1,182	1,125		総便益	44,321	44,120	41,151		費用 (C)	①事業費	5,893	6,007	5,404		②維持管理費	676	679	666		総費用	6,569	6,686	6,070		費用便益比 (B/C)		6.7	6.6	6.8		大項目 評 価 A ・ B ・ C
	区分	主な項目	前 回	今 回 (再々評価)		備 考																																																																
			(基準年：H28)	(基準年：R3)																																																																		
				全体事業	残事業																																																																	
便益 (B)	①一般資産被害軽減便益	16,218	22,106	20,594																																																																		
	②農作物被害軽減便益	84	106	99																																																																		
	③公共土木施設等被害軽減便益	27,473	20,728	19,333																																																																		
	④その他の便益	546	1,182	1,125																																																																		
	総便益	44,321	44,120	41,151																																																																		
費用 (C)	①事業費	5,893	6,007	5,404																																																																		
	②維持管理費	676	679	666																																																																		
	総費用	6,569	6,686	6,070																																																																		
費用便益比 (B/C)		6.7	6.6	6.8																																																																		
(3) 事業の進捗	事業の進捗と 今後の見通し	<p>現在、平成21年7月豪雨により浸水被害のあった沖ノ目地区において築堤工、護岸工を行っており、洪水に対する防護機能の向上を図っている。 今後も計画的な事業進捗が見込まれることから、河道掘削工や築堤工等を引き続き実施し、浸水被害の軽減に努める。</p>				大項目 評 価 A ・ B ・ C																																																																
		<p>【事業費の変化】 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p> <p>【事業期間の変化】 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p>																																																																				
(4) コスト縮減の可能性	コスト縮減	発生土砂の処分にあたり、周辺の公共事業と調整して可能な限り流用することによりコスト縮減を図る。	中項目 評 価 a b	大項目 評 価 A																																																																		
	代 替 案	「放水路案」等が考えられるが、経済性等の観点から、現計画の「河川改修案」が妥当である。	中項目 評 価 a b	大項目 評 価 B ・ C																																																																		
3 環 境	配 慮 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・低騒音・低振動の建設機械を使用する。 ・河川内工事の際に汚濁防止膜等を設置する。 ・河道掘削を行う際に瀬や淵をなるべく残す。 																																																																				
4 対応方針	総 合 評 価	● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止																																																																				
	評 価 理 由	事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業継続が妥当と判断する。																																																																				
	備 考																																																																					

こうがわ 厚東川 広域河川改修事業



この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。